

レポート「おもちゃ王国」

L-café Student Worker

江利川悟

概要

2016年11月3日、留学生18名と共におもちゃ王国（岡山県玉野市滝1640-1）を訪問した。おもちゃ王国では、「食と文化」をテーマに各留学生が出身国を子どもたちに紹介するイベントを開催した。国別ブースの内訳は、アメリカ・イラン・インド・インドネシア・オーストラリア・韓国・中国（ウイグル自治区）・トルコ・フランス・メキシコであった。なお、ドイツ人留学生が2名参加予定であったが、直前にキャンセルとなった。事前準備として、L-caféの提供により、各国ブース用の紹介写真やポスター等を作成した。

当日は、留学生が子どもたちとの交流を楽しんでいる様子であった。子どもたちの反応は、各人により様々であるが、各国語で挨拶をするなど、打ち解けた雰囲気であった。昼食はおもちゃ王国側からの提供により、各自に弁当が振る舞われた。宗教などの理由により特定の食品を食べることができない留学生に対しては、園内のうどん店からうどんが振る舞われた。国別紹介ブースは午前10時から午後2時までの開催であり、その後は午後5時の退場まで、各自フリーパスを受け取り、園内のアトラクションで遊んだ。アトラクションについては、各自とても楽しんだ様子であった。

今後の課題

今後同様のイベントを開催するにあたって、展示品・当日の食事についての課題があった。

展示については、写真を多く用意できたブースもあれば、ポスター1枚のみの展示となったブースもあった。また、ブースによっては、現地のおもちゃを用意するなど、子どもたちにも体験してもらえる展示を行ったものもあった。今後は、展示についてのガイドラインを作成し、特に何を用意すべきか、事前に明確にする必要がある。

当日の食事について、ハラルフードやベジタリアン向けの食品を用意する必要がある。当時は、日本人ヘルパーがうどんに入っている食材について解説し、各人の理解を得た上で昼食としたため、事前に食材についての詳細を受け取ることができれば良いであろう。